

2021年春、「ほぼ日の学校」が アプリになって開校します。

授業が生まれる「教室スタジオ」も、2020年12月に神田錦町の「神田ポートビル」にオープン！



株式会社ほぼ日（本社：東京都港区北青山、代表取締役社長：糸井重里）が運営する「ほぼ日の学校」（学
校長：河野通和）は、2021年春にアプリの姿で新たに開校します。名称も『ほぼ日の学校』へと変わり、ロゴ
およびイメージカラーも一新して、本日予告サイト（<https://school.1101.com/>）をオープンしました。全
貌は、年明けすぐ、2021年1月1日午前1時からのライブ配信で発表します。

新しい『ほぼ日の学校』は、「2歳から200歳までの。」をコンセプトに、これまでの古典のおもしろさを学
ぶ場から大きく広がり、さらに“みんなの学校”になっていきます。2021年春のアプリリリースに先立ち、話す
人、聴く人がリアルに集まる場所として、授業を収録する「教室スタジオ」が2020年12月に神田錦町にオー
プンします。これからも、確定するごとに情報をくりかえし発信していきますので、どうぞ、ずっと追いかけて
ください。

2歳から200歳までの。人から人が学ぶ、たのしみとよろこびをアプリで。



人の経験、人の感動、人の知恵、人の好奇心、人の失敗まで。人
から人へ伝わるもの、人から人が学ぶものには、たのしみとよろこ
びがあります。新しい『ほぼ日の学校』は、とにかく人が主役で、
人がメディアになる学校です。自分の好きなテーマをたのしそうに
語る講師たちの話は、世の中の森羅万象、どんな切り口のテーマで
も、大人にも子どもにも、たのしくて身になります。ただ知ること
がたのしい、もっと知りたくなる。そんな、“知の群島を巡る冒険の
旅”を『ほぼ日の学校』アプリでお届けします。アプリは、「画面と
ことば」の役割を考えぬいた、こころとあたまに届くデザインで開
発していますので、たのしみにお待ちください。

新しい「お化けフクロウ」のロゴは、株式会社アカオニのアート
ディレクター 小坂橋基希さんに制作いただきました。知の象徴でも
あるフクロウが、いろんな人たちに出会って話を聴きながら、お化
けのように変幻自在に変化します。

授業が生まれる「教室スタジオ」が、本社と同じ神田錦町にオープンします。

アプリで届ける授業は、話す人、聴く人の集まるリアルな学校で収録されます。そのメインとなる「教室スタジオ」が、2020年12月、神田錦町に新規オープンする「神田ポートビル」（東京都千代田区神田錦町3-9）の2階と3階に誕生します。この場所を知の「港」として、様々なコンテンツを発信していきます。

【神田ポートビルについて】

「神田ポートビル」は、安田不動産株式会社のプロデュースにより、2021年春に神田錦町にグランドオープンします（「ほぼ日の学校」の教室スタジオは、ビルのグランドオープンに先立って始動します）。神田錦町まちづくりの新拠点として、築56年の印刷会社旧社屋が、耐震補強とリノベーション工事を実施して生まれ変わることとなりました。同ビル内には、「ほぼ日の学校」の他に、写真家の池田晶紀さんが主宰する株式会社ゆかいが「あかるい写真館」を1階に、サウナ界を牽引する米田行孝さんが代表を務める株式会社ウェルビーが、東京初進出として次世代サウナ施設「サウナラボ」を地下1階にオープンします。ここを港にして、たくさんの船（プロジェクト）が出港し、そして安心して停まる場所になるように、糸井重里が「神田ポートビル」と名づけ、アートディレクターの菊地敦己さんがロゴを制作されました。

※当社の本社オフィスも、同じ神田錦町に「ほぼ日神田ビル」（東京都千代田区神田錦町3-18）としてオープンし、2020年11月16日に移転します。



2021年1月1日 午前1時スタート、 神田の「ほぼ日」からのライブ配信で全貌を発表します！

ほぼ日代表の糸井重里とほぼ日の学校長の河野通和も出演し、新しい『ほぼ日の学校』のコンセプトや開発中のアプリ、神田の教室スタジオについてなどの全貌を、年明けすぐの生配信で公開します。特別なゲストも企画中ですが、ライブ配信の詳細は12月中旬に別途ご案内しますので、お待ちください。

●本件についての取材申込、報道関係者のお問合せ先

株式会社ほぼ日 担当：藤野 メールアドレス：press@1101.com

電話：03-5770-1101（11/16以降は本社移転により03-5422-3801へと番号が変わります。）

※写真素材は右のリンク先にあるデータをご活用ください。<https://1101.jp/2GwU7tq>